

4 新たな事業・制度との連携・活用による取組の促進

④多様な主体が参加を促進するための地域独自の枠組

京都：モデルフォレスト運動

(1) 趣旨及び背景

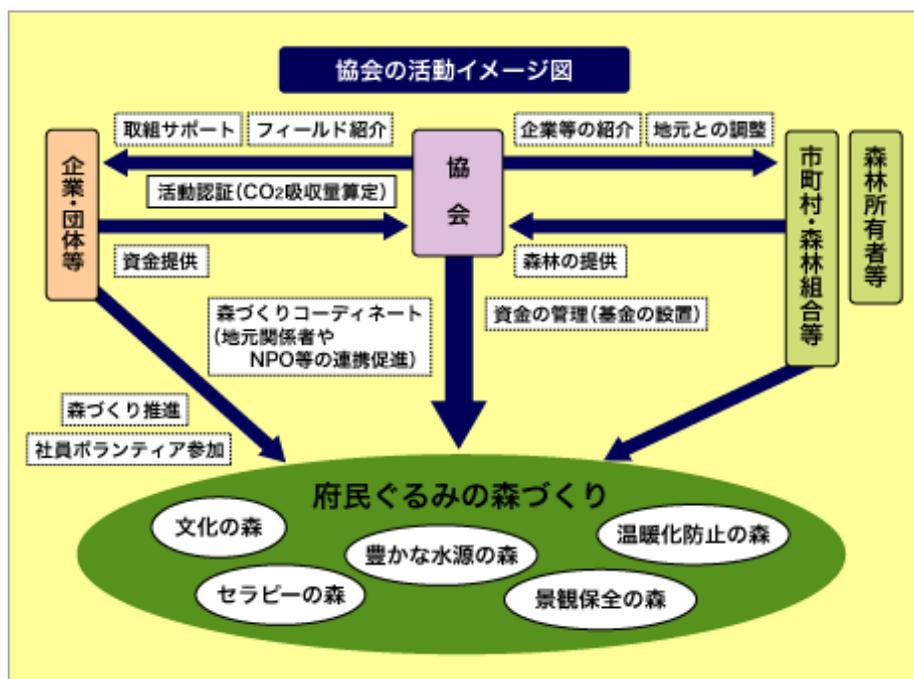
京都府では、林業関係者だけではなく府民、企業、大学、市民団体などとともに府民ぐるみで森づくりを進めるモデルフォレスト運動を進めている。昨年 11 月には推進母体となるモデルフォレスト協会が設立されている。また、府民ぐるみでの森林づくりを支える仕組みとして「京都府豊かな緑を守る条例」が制定され、これに基づいて指定される森林利用保全重点区域では、森林所有者と市民活動団体等が協定を結ぶことにより積極的な支援が受けられる仕組みとなっている。

森林利用保全重点区域は、19 年度内には 12 箇所が指定される見込みである。本モデル事業地である大江町毛原集落も重点区域の候補として検討されている。

(2) モデルフォレスト協会

府民運動としてモデルフォレスト運動を推進するため、社団法人としてモデルフォレスト協会が平成 18 年 11 月に設立された。

平成 19 年 3 月現在で 263 の会員が参加し、うち企業・団体会員が 63 となっている。



(モデルフォレスト協会の主な仕事)

- ・ 森づくり活動への参加等を希望する企業、団体等にフィールドを斡旋
- ・ 地域の森づくり関係者と一緒になって森づくりができる仕組みづくり
- ・ 森づくりのための募金呼びかけと、募金による森づくりの活動支援
- ・ 府民、企業等向けの森林整備体験教室、林業の現地見学会等の開催
- ・ 森づくりシンポジウムの開催やホームページ等による普及啓発活動
- ・ 森林ボランティア活動や森づくり関連イベント情報等の案内